# 塩津温泉

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』 **塩津温泉**(しおつおんせん)は、<u>愛知県北設楽郡設楽町清崎</u>に ある温泉。

# 目次

泉質

温泉街

歴史

アクセス

脚注

参考文献

関連項目

外部リンク

# 泉質

- 重曹泉 (ナトリウム 炭酸水素塩・塩化物泉)
  - 泉温 13.1℃(浴用加熱)。
  - 効能 神経痛・皮膚病など。
  - トロトロとした質感が特徴

[1]

# 灬 塩津温泉 画像をアップロード 温泉情報 所在地 愛知県北設楽郡設楽町清崎 北緯35度04分33.4秒 東経137度34分36.1秒 交通 JR飯田線本長篠駅下車から豊鉄バ ス田口下車・タクシー乗り換え 泉質 重曹泉(ナトリウム-炭酸水素 塩・塩化物泉) 泉温(摂氏) 13.1 ℃ 宿泊施設数 2 外部リンク 秀山荘 (http://www.shuuzansou.n et/)、芳泉荘 (http://sitarakankou.o n.arena.ne.jp/housenso.html)

#### 温泉街

<u>寒狭川</u>の支流である野々瀬川(塩津川)に沿って2軒の旅館が存在する。山間の集落にあり、付近には山稜上を<u>東海自然歩道</u>が通過する鞍掛山、岩古谷山などがある。これらの山への登山の拠点宿として用いられることも多い。ア ユ・アマゴの渓流釣りや紅葉が楽しめる。

#### 歷史

古くから湯治場として利用されてきたが、その起源は不明である。<u>昭和</u>2年(<u>1927年</u>)に一軒宿「秀山荘」が営業を開始し、主に林業従事者、農閑期の農民の湯治客を相手としてきた。<u>第二次世界大戦</u>後、新たに数軒の旅館が増え、客層も湯治客から観光客に変化していった<sup>[2]</sup>。<u>愛知県道433号和市清崎線</u>沿いに設置された「塩津温泉郷」の看板には、4軒の旅館名と電話番号が記されているが、2018年現在は「秀山荘」「芳泉荘」の2軒が営業している<sup>[3]</sup>。

#### アクセス

■ 電車・バス - JR<u>飯田線本長篠駅から豊鉄バス</u>田口行に乗車、田口バス停で下車(40分程度)。タクシーに乗り換え(10分程度)<sup>[4]</sup>。

### 脚注

- 1. ^ 泉質の出典は秀山荘ウェブサイト。
- 2. ^ 『名古屋近郊 いで湯の旅』p.96-97。
- 3. <u>^</u>『郷土資料辞典』では3軒、『愛知百科事典』では4軒と記載。<u>平成</u>期(<u>21世紀</u>に入ってから)に1軒が営業を終了している。
- 4. へ『名古屋近郊 いで湯の旅』p.97では「豊鉄バス、清崎バス停下車、徒歩50分」。このルートは2018年現在、愛知県道433号和市清崎線の道路改築工事や、平成30年台風第24号の被害(路肩決壊)のため通行止めで、迂回路を辿ると所要時間がさらに増える。参考「愛知県新城設楽建設事務所管内道路情報(pdfファイル) (http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/shinshiroshitara-kensetsu/dourokisei.pdf)」。

# 参考文献

- 与呉日出夫『名古屋近郊 いで湯の山旅』七賢出版、1995年 ISBN 4-88304-276-6
- 中日新聞開発局編『愛知百科事典』中日新聞本社、1976年
- 『郷土資料辞典 愛知県・観光と旅 改訂版』〈県別シリーズ21〉人文社、1974年

#### 関連項目

- 温泉、温泉街、外湯、温泉番付
- 日本の温泉地一覧 日本の温泉画像一覧

#### 外部リンク

- 秀山荘 (http://www.shuuzansou.net/)
- 芳泉荘 (http://sitarakankou.on.arena.ne.jp/housenso.html) 設楽町観光協会

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=塩津温泉&oldid=71538991」から取得

最終更新 2019年2月4日 (月) 11:32 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。